

令和7年度学校評価自己評価表

学校教育目標：挑戦～仲間・家庭・地域とともに～

北広島町立本地小学校

| 項目      | 中期<br>経営目標                 | 短期<br>経営目標                      | 目標達成のための方策                                        | 評価指標・目標値                                                      | 学校自己評価（中間） |        |      |    |                                                                                                                                     | 学校関係者評価 |                                                                                           |
|---------|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------------|--------|------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
|         |                            |                                 |                                                   |                                                               | 目標値        | 達成値    | 達成度  | 評価 | 改善策                                                                                                                                 | 評価      | コメント                                                                                      |
| 健やかな体   | 自らを律し、生活力を高めるための体力・耐力を育成する | 生活リズムを整え、目標に向かって粘り強く努力する心や体力を養う | 保護者とともに生活振り返りカードの取組を行う。                           | 生活がんばり表（早寝・早起き・朝ごはん、メディアコントロール）の目標を8割以上守って生活できた児童の割合<br>80%以上 | 80%        | 68%    | 85%  | 3  | ○項目別にみると、メディアと早寝の2つが著しく低かった。特にこの2点に絞って、保健朝会での指導や、学級での生活指導等を重点的に行うよう意識統一を図る。<br>○学級通信等で、家庭との連携の充実を図る。                                | B       | ・いろいろ家庭環境がある中、先生方が様々な方法で取り組んでいる。家庭での協力も重要である。<br>・メディアについては学校でも重点的にお願いしたい。                |
| 豊かな心    | 自他のよさを認め、自分も相手も大切にする心を育成する | 支え合い磨き合う集団づくりを行う                | 各自の挑戦宣言や学校行事カードを活用し、学級活動や学校行事の充実を図る。              | 行事の目標を肯定的に振り返ることができた児童の割合<br>80%以上                            | 80%        | 75%    | 94%  | 3  | ○継続して、行事前に学級や個人の目標を確認し、活動への意欲を高めるようにする。<br>○子ども同士が関わり合う場を意識的につくり、相互に肯定的な評価が伝わるようにする。                                                | B       | ・学校行事に参加した際、活気を感じることができた。<br>・学校行事カードにより目標設定・振り返りをしっかり行えてたように思う。                          |
| 確かな学力   | 自ら学ぶ意欲を持ち、思考力・表現力を高める      | 基礎基本の定着を図る                      | 朝や放課後のパワーアップタイム、家庭学習の充実を図る。                       | 国語科・算数科の単元末テストの平均通過率<br>低学年…80%以上<br>中・高学年…75%以上              | 低80%       | 国84算85 | 106% | 4  | ○パワーアップタイム(学力補充)の指導体制と内容の充実を図る。<br>○自主学習の取組の充実を図る。<br>・見本ノートの掲示<br>・目標達成者の表彰<br>○学力テスト分析を基にした授業改善を図る。<br>・「根拠を元を書く」活動や「視写」を多く取り入れる。 | A       | ・テストでの数値だけにとらわれず、個性が生かされる力をつけてほしい。<br>・学力は少しずつでも定着していけるとよい。<br>・自ら学ぶ意欲をしっかりともてるようになってほしい。 |
|         |                            | 進んで考え、伝え合う力を高める                 | 伝え合う活動の充実<br>・視点を明確にしたうえで、ペアトーク・グループトークを行う場を設定する。 | 児童アンケートで、進んで自分の考えを伝えている児童の割合<br>80%以上                         | 80%        | 78%    | 97%  | 3  | ○講師を招聘した校内研修により伝え合う活動の充実を図る。<br>○伝え合い活動を工夫し、繰り返し指導を行う。                                                                              | B       | ・授業参観ではペアトーク・グループトークがしっかり行えていた。<br>・伝え合う力をつけるために、子どもたちにプレゼンやスピーチ等をさせる機会も設定するとよい。          |
| 信頼される学校 | 保護者・地域とつながり、信頼される学校づくりを行う  | 教育活動の質を高め、保護者・地域との信頼関係をより高める    | 地域・保護者と協働する『本地「夢」プログラム』の作成と情報発信を行う。               | 保護者アンケート情報発信と特色ある学校づくりの項目での肯定的評価<br>85%以上                     | 85%        | 95%    | 112% | 4  | ○今後も学校だより・ホームページ・地域放送等での情報発信を継続し、保護者・地域とのきめ細やかな連携を進め、信頼関係を深める。<br>○地域を教材にしたプログラムを整理し、計画的な学習を進めていく。                                  | A       | ・本地っ子祭りはとてもよい取り組みだった。<br>・積極的に地域との連携を行うことができている。今後も、もっと連携を進めていきましょう。                      |

【学校自己評価 評価基準】 4…十分達成できた（達成度 100 以上） 3…おおむね達成できた（達成度 80～100） 2…あまり達成できなかった（達成度 60～80） 1…達成できなかった（達成度 60 未満）

【学校関係者評価 評価基準】 A…自己評価は大変妥当である B…自己評価は概ね妥当である C…自己評価はあまり妥当でない D…自己評価は妥当でない